「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	金沢大学
連携大学名	富山大学、福井大学、金沢医科大学
事業名	北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン

① 本事業終了後の達成目標

	本事業終了後の達成目標
達成目標	本プランでは、①認知症チーム医療のリーダーとして活躍できる認知症専門医師の養成②地域医療に貢献できる地域認知症専門医師等の養成③国際的視野を持ち認知症に関する新たな診断・治療法などの開発研究等を担う、高度な研究能力を有するスーパープロフェッショナル医の養成を目標としている。 高齢化が進む北陸地域で北陸4医科系大学及び地域の認知症・神経難病専門医療機関、研究機関、自治体、民間企業等との連携をもとに、北陸地域における認知症診療の向上、充実化を図る。

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
インプット・プロセス（投入、入力、活動、行動）	定量的なもの	・事業推進準備委員会、意見交換会開催（1回） ・運営組織設置（事業推進委員会10人、運営協議会24人、教務委員会31人、アドバイザリーボード4人） ・教務委員会開催（1回） ・運営協議会開催(1回） ・第1期大学院生選考・社会人コース受講者選考(【定員】本科コース/金沢大3人、富山大1人、福井大2人、医科大3人・インテンシブコース/金沢大3人、富山大2人、福井大5人、金沢医科大3人・スペシャル研修コース/金沢大4人・スーパーコース/金沢大1人）	・事業推進委員会、意見交換会開催（1回） ・教務委員会開催（1−2回） ・運営協議会開催(1回） ・第1期大学院生入学・社会人コース受講者受入れ(【定員】本科コース/金沢大3人、富山大1人、福井大2人、医科大3人・インテンシブコース/金沢大3人、富山大2人、福井大5人、金沢医科大3人・スペシャル研修コース/金沢大4人・スーパーコース/金沢大1人）	・事業推進委員会、意見交換会開催（1回） ・教務委員会開催（1−2回） ・運営協議会開催(1回） ・第2期大学院生入学・社会人コース受講者受入れ(【定員】本科コース/金沢大3人、富山大1人、福井大2人、医科大3人・インテンシブコース/金沢大3人、富山大2人、福井大5人、金沢医科大3人・スペシャル研修コース/金沢大4人・スーパーコース/金沢大1人）	・事業推進委員会、意見交換会開催（1回） ・教務委員会開催（1−2回） ・運営協議会開催(1回） ・第3期大学院生入学・社会人コース受講者受入れ(【定員】本科コース/金沢大3人、富山大1人、福井大2人、医科大3人・インテンシブコース/金沢大3人、富山大2人、福井大5人、金沢医科大3人・スペシャル研修コース/金沢大4人・スーパーコース/金沢大1人）	・事業推進委員会、意見交換会開催（1回） ・教務委員会開催（1−2回） ・運営協議会開催(1回） ・第4期大学院生入学・社会人コース受講者受入れ(【定員】本科コース/金沢大3人、富山大1人、福井大2人、医科大3人・インテンシブコース/金沢大3人、富山大2人、福井大5人、金沢医科大3人・スペシャル研修コース/金沢大4人・スーパーコース/金沢大1人）
	定性的なもの	・事業計画、アクションプラン協議 ・特任教員の採用 ・金沢大学及び各連携大学に認プロ事務局を設置 ・関連地域医療機関へテレビ会議システム導入、ネットワーク環境の整備 ・平成27年度教育コースの学生募集	・事業計画、アクションプラン等協議 ・平成28年度コースの学生募集	・事業計画、アクションプラン等協議 ・平成29年度コースの学生募集	・事業計画、アクションプラン等協議 ・平成30年度コースの学生募集	・事業継続の検討、継続体制整備 ・平成31年度コースの学生募集

アウトプット （結果、 出力）	定量的なもの	・キックオフ市民公開講座開催(1回） ・キックオフシンポジウム開催(1回） ・アドバイザリーボード開催(1回）	・市民公開講座開催(1回） ・シンポジウム開催(1回） ・アドバイザリーボード開催（1-2回） ・デメンシアカンファレンス(1回／月） ・FD研修会の開催（4回） ・国際セミナー開催/講演（1回） ・医療スタッフセミナー(1回） ・キャリア支援セミナー（1回）	・市民公開講座開催(1回） ・シンポジウム開催(1回） ・アドバイザリーボード開催(1-2回） ・デメンシアカンファレンス(1回／月） ・FD研修会の開催（4回） ・医療スタッフセミナー(1回） ・IPEワークショップ開催(1回） ・キャリア支援セミナー（1回）	・市民公開講座開催(1回） ・シンポジウム開催(1回） ・アドバイザリーボード開催(1-2回） ・デメンシアカンファレンス(1回／月） ・FD研修会の開催（4回） ・国際シンポジウム開催（1回） ・医療スタッフセミナー(1回） ・IPEワークショップ開催(1回） ・キャリア支援セミナー（1回）	・事業成果報告会開催（1回） ・市民公開講座開催(1回） ・シンポジウム開催(1回） ・アドバイザリーボード開催(1-2回） ・デメンシアカンファレンス(1回／月） ・FD研修会の開催（4回） ・医療スタッフセミナー(1回） ・IPEワークショップ開催(1回） ・キャリア支援セミナー（1回）
	定性的なもの	・事業共同実施協定書締結 ・ホームページ公開 ・第1期志願者書類審査及び面接試験の実施 ・教育コース、e-learning講義内容の決定、作成 ・各教育コース関連規定等整備 ・連携大学及び関連地域医療機関との連携及び情報ネットワーク構築 ・内部評価、外部評価委員による評価 ・外部、地域への情報発信	・第2期志願者書類審査及び面接試験の実施 ・内部評価、外部評価委員による評価 ・外部、地域への情報発信 ・e-learning講義作成、完成	・第3期志願者書類審査及び面接試験の実施 ・内部評価、外部評価委員による評価 ・外部、地域への情報発信 ・新規教育科目の考案、e-learning講義内容の改変	・第4期志願者書類審査及び面接試験の実施 ・内部評価、外部評価委員による評価 ・外部、地域への情報発信 ・新規教育科目の考案、e-learning講義内容の改変	・第5期志願者書類審査及び面接試験の実施 ・第1期生の学位審査・プログラム認定審査 ・内部評価、外部評価委員による評価 ・外部、地域への情報発信 ・新規教育科目の考案、e-learning講義内容の改変
アウトカム （成果、 効果）	定量的なもの			・第1期インテンシブコース修了者（修了者見込み、金沢大3人、富山大2人、福井大5人、金沢医科大3人） ・第1期スペシャル研修コース（修了者見込み、金大4人）	・第2期インテンシブコース修了者（修了者見込み、金沢大3人、富山大2人、福井大5人、金沢医科大3人） ・第1期スペシャル研修コース（修了者見込み、金大4人）	第1期本科コース修了者（金沢大3人、富山大1人、福井大2人、金沢医科大3人） ・第3期インテンシブコース修了者（修了者見込み、金沢大3人、富山大2人、福井大5人、金沢医科大3人） ・第3期スペシャル研修コース（修了者見込み、金沢大4人）
	定性的なもの	・教育コースの構築 ・連携大学及び関連地域医療機関の連携強化 ・本プランの周知 ・内部評価、外部評価を基にした検討、改善	・内部評価、外部評価委員会によるPDCAサイクル形成、改善 ・次年度事業の実施体制検討調整 ・本プランの周知 ・入学希望者の確保 ・チーム医療のリーダーの養成 ・地域医療に貢献できる専門医師の養成 ・開発を担う高度な研究能力を有する専門医の養成 ・臨床研究の推進、先進的医療を担う人材育成とそのキャリア形成	・内部評価、外部評価委員会によるPDCAサイクル形成、改善 ・次年度事業の実施体制検討調整 ・本プランの周知 ・入学希望者の増加 ・チーム医療のリーダーの養成 ・地域医療に貢献できる専門医師の養成 ・開発を担う高度な研究能力を有する専門医の養成 ・臨床研究の推進、先進的医療を担う人材育成とそのキャリア形成	・内部評価、外部評価委員会によるPDCAサイクル形成、改善 ・次年度事業の実施体制検討調整 ・本プランの周知 ・入学希望者の増加 ・チーム医療のリーダーの養成 ・地域医療に貢献できる専門医師の養成 ・開発を担う高度な研究能力を有する専門医の養成 ・臨床研究の推進、先進的医療を担う人材育成とそのキャリア形成	・内部評価、外部評価委員会によるPDCAサイクル形成、改善 ・次年度事業の実施体制検討調整 ・本プランの継続基盤確保 ・本プランの周知 ・入学希望者の確保 ・チーム医療のリーダーの輩出 ・地域医療に貢献できる専門医師の輩出 ・開発を担う高度な研究能力を有する専門医の輩出 ・臨床研究の推進、先進的医療を担う人材育成とそのキャリア形成

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業期間中は、PDCAサイクルによる工程管理を行った上で、全国の模範となるよう体系的な教育プログラムを展開すること。その際、履修する学生や医療従事者等のキャリアパス形成につながる取組や体制を構築すること。	PDCAサイクルを確実に推進するため、内部評価組織として運営協議会、外部評価組織としてアドバイザリーボードを設置、アウトプット、アウトカムを年度ごとに示し到達度の評価を受けて事業推進委員会が工程管理を行う。学生受入れ後は、教務委員会、アドバイザリーボードが中心となりプログラムの達成状況把握や評価・点検を実施し、次年度以降の事業に反映させる。教育コースは地域における認知症フィールド研修から、認知症の症侯学、最先端の検査法を含む診断学、分子病態・神経病理学、治療・予防学の研さん、更に新規診断法、予防・治療薬の開発研究法の習得に至るまで幅広い領域を包含し大学や地域医療機関に所属する各専門領域のエキスパートスタッフが認知症の臨床、基礎、研究について指導研修を展開する。また、本プランの教育コース履修者を含めた認知症関連医師のキャリアパス形成を支援するためセミナーを開催する。
②	事業の実施に当たっては、学長・学部長等のリーダーシップのもと、責任体制を明確にした上で、全学的な実施体制で行うこと。また、地域医療の充実やチーム医療の推進の観点からも、学外の有識者にも積極的に参画いただき、事業の構想を実現できる体制を構築すること。	金沢大学学長を事業推進代表者，医薬保健学域長を事業推進責任者に置き、各連携大学、関連地域医療機関からの選出者等で構成する事業推進委員会、運営協議会、教務委員会を設置。また、認知症における有識者（認知症専門家の立場，かかりつけ医の立場，国民一般の立場）で構成するアドバイザリーボードを設けた。連携大学、関連地域医療機関、研究機関、自治体、民間企業等と密接に連携し、本プランを推進、実施していく。
③	事業期間終了後も各大学において事業を継続することを念頭に、具体的な事業継続の方針・考え方について検討すること。また、多くの大学に自らの教育改革を進める議論に活用してもらうため、選定大学が開発・実践する教育プログラムから得られる成果等を、可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信すること。	4大学連携により開講する授業科目を北陸地域の認知症教育のコンソーシアムの一環として位置づけ、予算、組織、人員の継続維持を図りながらプラン終了後も教育モデルとなるよう改善・発展させていく。地域社会への情報発信としては、市民公開講座や、医療従事者を対象にしたシンポジウムを開催し、認知症への理解と本プランの周知を図る。ホームページでは、本プランの活動や成果を継続的に発信していく。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント（改善を要する点、留意事項）	対応方針
認知症に関する臨床研究の推進や、社会医学的な面でのプログラムはやや具体性に乏しいのではな いか。	認知症の臨床研修について直接指導する。
大学院コースにおける養成対象について、医師、看護師、その他の区別が不明な箇所がある。	本プランの大学院生コースにおける養成対象は医師のみとし、現段階では看護師、介護士等を対象としていないが、将来的には看護師、介護士も含めたプログラムに発展させていく。
キャリア教育・キャリア形成支援の欄が空欄であるが、事業を展開する上で履修者のキャリアパス支援は非常に重要であることから、検討いただきたい。	キャリア支援セミナーを開催し，本プランの教育コース履修者を含めた認知症関連医師のキャリアパス支援を行う。
認知症専門医のみでなく、認知症を理解するコメディカルの育成も必要と思われることから可能な範囲で検討いただきたい。	本プランの教育コースにおける養成対象は医師のみとし、現段階ではコメディカルを対象としていないが、コメディカルとの連携・育成も視野に入れたシンポジウムやセミナーも企画していく。更に今後はコメディカル（看護師、介護士、保健師等）の育成も含めたプログラムに発展させていく。